

尾瀬高通信

平成28年11月16日発行 第183号
群馬県立尾瀬高等学校 校長 小林 由隆

体育祭

9月14日(水)、本校校庭にて体育祭が行われました。体育祭は文化祭と隔年で行われているため、2年ぶりの開催となりました。

前日から雨模様で開催が危ぶまれましたが、当日の朝、野球部員をはじめとしたたくさんの生徒達、先生方が協力してグラウンドの整備を行い、無事開催することができました。初めは曇っていた空も時間が経つごとに晴れ間が見えて、絶好の体育祭日和となりました。



競技は個人種目だけでなく、クラスの団結力が競われる団体戦も行われます。入賞者・クラスには点数が付けられ、その合計点をもってクラスが争われます。選手全員がクラスのために必死で競技に取り組み、団結の深まった1日でした。

また、PTAから全校生徒にそうめんとホットドッグの提供がありました。朝早くから準備していただきました。心も体も満たされる素敵な提供でした。ありがとうございました。

以下に各競技の優勝者・チームを掲載します。

- ・男子100m 1-2 高橋 優太
- ・女子60m 3-1 宮崎こゆき
- ・男子走り高跳び 1-2 金子万樹斗
- ・サバイバルレース 2-2 金子 智哉
- ・6×100mリレー 2-1
- ・玉入れ 2-1
- ・加足減速 3-1
- ・長縄跳び 2-2
- ・綱引き 2-2
- ・全員リレー 2-1

- ・総合優勝 3-1、2-1
(同点のため、優勝が2チームとなります。)



演劇教室

9月20日(火)、片品村文化センターで劇団東京芸術座による演劇教室が行われました。演目は「夏の庭」です。「人が死ぬところを見てみたい」と小学6年生の仲良し3人組は、近所に住む一人暮らしの老人を見張ります。老人とのやりとりを通して「命」について考え、そして成長していく物語です。

この演劇を鑑賞した1年生の星 晴輝くんは、「少年たちのおじいさんに対する気持ちが、時間が経つにつれ変わっていくのがとてもよかったです。」と感想を残しています。



明石杯高校生英語コンテスト

9月23日(金)、沼田女子高校にて明石杯高校生英語コンテスト利根・沼田支部予選会が開催されました。スピーチ発表はレシテーションの部(暗唱)とスピーチの部(自作のスピーチ)があります。

本校からは、1年1組の吉原えりかさんがレシテーションの部で出場しました。吉原さんは、赤ずきんちゃんの英語版を暗唱しました。このコンテスト参加に向けて、日々の放課後指導の他に、ALTのハナ先生からも指導を受けました。コンテストでは残念ながら入賞とはなりませんでした。ミスも少なく、堂々と発表していました。

このコンテストに参加した吉原さんは「今回初めてスピーチコンテストに参加しました。私が挑戦したスピーチは『Little Red riding food』という日本でいう赤ずきんちゃんです。発音を集中的に練習してきた結果、入賞はできなかったのですが、審査員であるネイティブの先生に最後の講評で発音をほめられ、1つのことでも集中すれば結果につながるということを学びました。今回のスピーチコンテストで学んだ『1つのことを集中的に努力すること』を今後の学校生活に生かしていきたいと思いました。」と話してくれました。

2学年修学旅行

9月28日(水)から10月1日(土)までの4日間、2学年の生徒54名が沖縄へ修学旅行に行ってきました。早朝からの集合にもかかわらず、2年生全員が元気に出発していきました。

14時過ぎに沖縄に到着し、まず国際通りを散策し、沖縄の雰囲気を感じました。その後、平和学習を行いました。太平洋戦争を経験した人に講話をいただき、戦争の悲惨さを学びました。2日目の午前中も平和学習です。ひめゆりの塔を訪れ、学徒の方達のお話を聞いたり、平和の礎・摩文仁の丘で戦没者達の慰霊を見学したりしました。午後は体験学習で、洞窟を探検してきました。



3日目は美ら海水族館でジンベイザメを見た後、1組・2組別れて体験学習を行いました。1組はシュノーケリングで海の中を散策しました。2組はサンゴ再生で、海の中にサンゴの移植を行いました。また海ぶどうの収穫も行いました。4日目は首里城を見学し、無事帰校となりました。

4日間、体調不良や怪我もなく、全員が元気に過ごすことのできた修学旅行となりました。

4日間、体調不良や怪我もなく、全員が元気に過ごすことのできた修学旅行となりました。

1学年職場体験

9月29日(木)30日(金)の2日間、1年生が職場体験に行ってきました。生徒は事前に興味のある職業について考え、必要によっては自分でアポイント取るなどしました。

54名の生徒が30ヶ所に別れて体験を行いました。朝から夕方まで丸二日間働き、学校では学ぶことのできない社会について学習してきました。

片品村役場で職場体験を行った2組の平野生(ヒノ)ウミさんは「働くことの大変さ、すばらしさに気づけました。この経験を日々の生活にも生かしていきたいです。」と感想を残しています。



性・エイズ講演会

10月12日(水)、中間考査終了後の5・6時間目に、性・エイズ講演会が行われました。講師は母の芽助産院の後藤ひとみ先生です。「性感染症の予防と避妊」という演題で講演していただきました。

初めに、「東日本大震災の日に被災地で生まれた赤ちゃん」の動画を見ました。そこから、妊娠・出産は希望に満ちあふれたものであることを勉強しました。また、性欲についての男女間の違いから、性行為、そして性感染症の話まで、多岐に渡る講演をしてくださいました。性感染症は20種類以上の病原体がありますが、たいてい完治します。しかしHIVは完治の方法が見つかっていません。後藤先生は「自分だけは大丈夫だと考えがちですが、性行為をすればいつでも誰でも感染する可能性があります。無防備な性行為を行ったらすぐに保健所へ行き、検査してください。」と訴えました。

様々な情報が簡単に手に入れることができる現在、誤った情報を鵜呑みにすると幸せな生活が送りにくくなります。この講演で得た正しい知識を、今後の生活に活かしていきましょう。



今月の自然環境科♡

9月27日(火)、片品中・利根中の2年生を対象とした中高連携観察会が行われました。3年生が秋の武尊山を題材に自然観察プログラムを考えて、武尊山を案内しました。

1班に3年生が2人つくかたちで、12班編制しました。紅葉のしくみやブナの役割など、地元にいながらなかなか行かない武尊山の自然環境を観察や体験を交えて伝えました。

